

---

## 2. 発表論文等

---

第2章に掲載した論文等は各団体から転載の許可を得て掲載しております。

なお、著作権は各団体に帰属するため、転載を禁じます。



## 2.1 論文・技術報告等

---

---

1) 森林表土を利用した緑化のり面に成立する植生と気候要因の関係 .....	51
2) 切土のり面におけるイタチハギ ( <i>Amorpha fruticosa</i> L.) の選択的伐採による 駆除処理の効果 .....	65
3) 街路樹の倒伏対策 .....	69
4) 樹上性哺乳類の生息林分断化対策：簡易エコブリッジの開発 .....	71
5) 災害時における歴史的市街地の復旧プロセスに関する基礎的研究 ー過去の自然災害及び東日本大震災における歴史的市街地の復旧事例分析からー .....	73
6) ビッグデータを活用した生態系保全の試み：GIS と生息適地モデルによる 重要地域の推定と保全対策 .....	79
7) 福島県甲子道路における野生動物の糞抽出 DNA を利用したモニタリング .....	81
8) 市町村のシンボル樹種からみた日本人の自然観の地域性・時代性と ランドスケープへの影響 .....	87
9) 都市公園における木質バイオマスを活用したガス化発電技術の 導入可能性に関する研究 .....	91



## 2.2 学会・シンポジウム要旨

---

---

10) 鳥好きのための GIS 入門 .....	97
11) 都市公園における木質バイオマスを活用したガス化発電に関する実証実験について .....	99
12) 公園剪定枝の炭化・ガス化発電システムに関する研究 .....	101
13) 「『まちづくり効果』を高めるための公共事業の進め方(案)」の作成 .....	105
14) 東日本大震災復興計画における景観形成施策の位置づけに関する研究 .....	106
15) 生物多様性の確保に向けた樹種選定と日本人の自然観 ー全国市町村のシンボル種に着目してー .....	107
16) 国土管理を目的とした保全上重要地域のスクリーニング： アンブレラ種に着目した国土・地域・局所スケールでの検討 .....	109
17) 都会の大規模緑地は生物多様性ホットスポットとなりえるか？ ー東京都心から多摩地域にかけての広域比較 .....	110



## 2.3 雑誌・特集記事等

---

---

18) 台風による街路樹倒伏被害の現状と対策 .....	113
19) 河川における外来種管理のためのオオキンケイギクの開花推移に関する 新たな把握方法 .....	119
20) 都市における植物廃材のエネルギー利用に関する研究動向 .....	123
21) 全国の街路樹の動向～平成 23 年度末全国道路緑化樹木現況調査の結果から～ .....	125
22) 気候変動枠組条約第 19 回締結会議（COP19）開催報告 .....	127



## 2.4 出典

---



2.1 ～ 2.3 に掲載した文献の出典は以下のとおりである。（掲載順に列挙）

#### 2.1 論文・技術報告

- 1) 久保満佐子・松江正彦・飯塚康雄（2013）森林表土を利用した緑化のり面に成立する植生と気候要因の関係，日本緑化工学会誌，38（4）：425-438.
- 2) 大貫真樹子・久保満佐子・飯塚康雄・栗原正夫（2013）切土のり面におけるイタチハギ（*Amorpha fruticosa* L.）の選択的伐採による駆除処理の効果，日本緑化工学会誌，39（1）：198-201.
- 3) 飯塚康雄（2013）街路樹の倒伏対策，第30回日本道路会議論文集（CD-ROM），30：1011.
- 4) 上野裕介・栗原正夫・園田陽一・松江正彦（2013）樹上性哺乳類の生息林分断化対策：簡易エコブリッジの開発，第30回日本道路会議論文集（CD-ROM），30：1015.
- 5) 阿部貴弘（2013）災害時における歴史的市街地の復旧プロセスに関する基礎的研究-過去の自然災害及び東日本大震災における歴史的市街地の復旧事例分析から-，都市計画論文集，48（3）：207-212.
- 6) 上野裕介・栗原正夫（2014）ビッグデータを活用した生態系保全の試み：GISと生息適地モデルによる重要地域の推定と保全対策，「野生生物と交通」研究発表会講演論文集，13：35-36.
- 7) 園田陽一・中村匡聡・久保満佐子・松江正彦・上野裕介・栗原正夫（2014）福島県甲子道路における野生動物の糞抽出DNAを利用したモニタリング，「野生生物と交通」研究発表会講演論文集，13：77-82.
- 8) 上野裕介・曾根直幸・栗原正夫（2014）市町村のシンボル樹種からみた日本人の自然観の地域性・時代性とランドスケープへの影響，ランドスケープ研究，77（5）：619-622.
- 9) 曾根直幸・山岸裕・栗原正夫・大場龍夫・河野良彦・根本泰行（2014）都市公園における木質バイオマスを活用したガス化発電技術の導入可能性に関する研究，ランドスケープ研究，77（5）：693-696

## 2.2 学会・シンポジウム要旨

- 10) 上野裕介・森さやか (2013) 鳥好きのための GIS 入門, 日本鳥学会 2013 年度大会講演要旨集 : 238.
- 11) 曾根直幸・山岸裕・栗原正夫・大場龍夫・河野良彦・根本泰行 (2013) 都市公園における木質バイオマスを活用したガス化発電に関する実証実験について, 日本造園学会関東支部大会事例・研究報告集, 9 : 102-103.
- 12) 根本泰行・大場龍夫・河野良彦・後藤真由美・曾根直幸 (2013) 公園剪定枝の炭化・ガス化発電システムに関する研究, 太陽/風力エネルギー講演論文集, 547-550.
- 13) 小栗ひとみ・曾根直幸・栗原正夫・阿部貴弘・松江正彦 (2013) 「『まちづくり効果』を高めるための公共事業の進め方(案)」の作成, 景観・デザイン研究講演集, 9 : CD-ROM.
- 14) 木村優介・曾根直幸・栗原正夫 (2013) 東日本大震災復興計画における景観形成施策の位置づけに関する研究, 景観・デザイン研究講演集, 9 : CD-ROM.
- 15) 上野裕介・木村優介・曾根直幸・栗原正夫 (2013) 生物多様性の確保に向けた樹種選定と日本人の自然観—全国市町村のシンボル種に着目して—, 景観・デザイン研究講演集, 9 : CD-ROM.
- 16) 上野裕介・栗原正夫 (2014) 国土管理を目的とした保全上重要地域のスクリーニング: アンブレラ種に着目した国土・地域・局所スケールでの検討, 第 61 回日本生態学会講演要旨集 : B2-09.
- 17) 曾根直幸・上野裕介・栗原正夫 (2014) 都会の大規模緑地は生物多様性ホットスポットとなりえるか?—東京都心から多摩地域にかけての広域比較, 第 61 回日本生態学会講演要旨集 : PA1-177.

## 2.3 雑誌・特集記事等

- 18) 飯塚康雄 (2013) 台風による街路樹倒伏被害の現状と対策, グリーン・エージ, 476 : 22-26.
- 19) 小栗ひとみ・畠瀬頼子・栗原正夫・松江正彦・栗原正夫 (2013) 河川における外来種管理のためのオオキンケイギクの開花推移に関する新たな把握方法, 土木技術資料, 55 (11) : 25-28.
- 20) 曾根直幸 (2014) 都市における植物廃材のエネルギー利用に関する研究動向, 土木技術資料, 56 (1) : 46-47.
- 21) 武田ゆうこ (2014) 全国の街路樹の動向～平成 23 年度末全国道路緑化樹木現況調査の結果から～, 土木技術資料, 56 (1) : 48-49.
- 22) 栗原正夫 (2014) 気候変動枠組条約第 19 回締結会議 (COP19) 開催報告, 土木技術資料, 56(3) : 42-43.